



ヨセアイ ツナガル

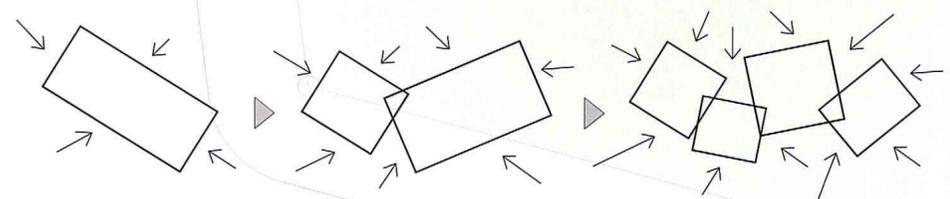
— 輪郭を保ったまま関係が生まれる集会所 —



団地の住民は世帯の在り方、国籍など歴史の中で多様化しているなかで集会所は、画一的な使われ方や地域コミュニティへの参画の偏りから、どのように脱却できるか。本計画では、4つの矩形を不規則に寄せ合い、多面的な建築とするこで、あらゆる方向からの視線や関わりを受け入れる集会所をつくる。建築を媒介し、人と人が無理なくつながり異なる存在が融和していく場を目指した。

- ・ヨセアイ = 平面では自立した個(矩形)としてのアイデンティティ(輪郭)を明確にしたまま集合し
- ・ツナガル = 立面では勾配屋根の稜線が連なるような形態で全体を包摂する

— ダイアグラム —



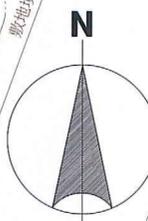
大きさや向き異なる矩形を並べて、ずらして重ねることで、外部に相対する面が増えていく。単一の形では生まれない広がりのある場が、人や活動が自然に集まるきっかけを生み出す。



屋根伏図 1/200



配置図兼平面図 1/100



構造/仕上げ

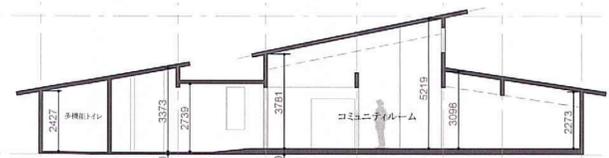
- 構造: 木造在来工法
- 外壁: 塗り材
- 屋根材: ガルバリウム鋼板
- エントランス土間: モルタル金剛仕上げ
- 床: <コミュニティールーム> 突板フローリング <湯沸室・倉庫・トイレ> フロアタイル

室名	面積
コミュニティールーム	75.88㎡
湯沸室	12.93㎡
倉庫	4.91㎡
巡回管理員室	11.99㎡
男性トイレ	3.00㎡
女性トイレ	1.51㎡
多機能トイレ	6.21㎡
洗面スペース	0.99㎡
トイレ用具入れ	0.76㎡
エントランス・廊下	23.07㎡
合計	141.25㎡

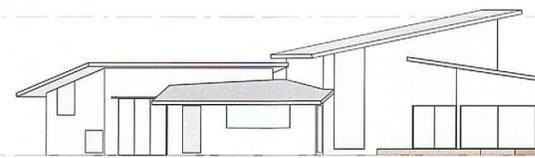
不規則に配置された矩形に対し、屋根の勾配方向を調整、それぞれの高低差を屋根でつなぐことで、文節されたボリュームを一体として全体を整えた。

コミュニティールームの窓を開放すると、ふれあいデッキとあわせて広々とした交流スペースが生まれる。外へとつながる湯沸室と合わせて、餅つき大会や夏祭りなど年中行事をサポートするなど用途が広がる。

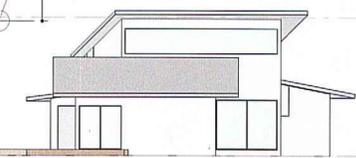
コミュニティールームの南側窓際は緑側のような開放的空間の役割も担う。窓の外光を追うように、人を引き込む。



A-A断面図 1/200



南面立面図 1/200



東面立面図 1/200